

## 2018.5.14 第23回ノートルダム三校合同研修会 について

5月12日(土)午後、鹿ヶ谷のノートルダム女学院中学・高等学校において、第23回三校合同研修会が開催されました。この研修会は、ノートルダムの創立者福者マリアテレジア・ゲルハルディンガーの祝日(5月9日)前後に、ノートルダム小学校、ノートルダム女学院中学・高等学校、京都ノートルダム女子大学の教職員を対象として毎年開催されるものです。

今年のテーマは、「21世紀型教育とミッション・コミットメント」

創立者マリアテレジア・ゲルハルディンガーは、常に、教育の根本精神を堅持しつつ、時代のニーズに敏感に応える教育を目指しておりました。その精神を継承するものとして、昨今、教育界で目標とされ、実践されている「21世紀型教育」と、ノートルダムの「ミッション・コミットメント」との深いところでの関連を極めたいとの考えからのテーマ設定でした。

「21世紀型教育機構」理事であり、2000年代より、この方面でご活躍の石川一郎先生のご講演。ノートルダム女学院高校グローバルコース長 中村 良平先生の「高い英語力」と「豊かなグローバルマインド」の育成というコースの狙いと実践の説明。グローバルコース3年生のうち、2グループ7人の生徒による「世界を少しでも良くするためのプロジェクト」(ゴミの削減・フェアトレード)の発表がありました。

その後、200人余りの参加者が40グループほどに分かれ、“国際連合のSDGs(持続可能な開発目標)17”よりグループで研究したいテーマを一つ選び、その目標達成のためのプロジェクトを考え、模造紙に書き、発表するという作業を致しました。各グループは、実現可能なプロジェクトを考え出すために楽しく活発に作業した様子でした。

この研修会についてのアンケート結果は、後日発表されますが、本日の研修会が、ノートルダム三校教職員の相互理解の機会となり、また、今後の教育活動への刺激となったことと期待いたします。

講師の先生方、発表してくれた高校生たち、熱心に参加された教職員、準備の為さまざまにお骨折り頂いた多くの方々に心から感謝いたします。創立者マザーテレジアの取次による豊かな祝福を、皆様の上にお祈り申し上げます。

和田 環